



東大生・エンマキ 交流会

9月4日(水)に日本遠洋旋網漁業協同組合(エンマキ)と東京大学農学部国際水産開発学研究室の学生と交流会を行いました。交流会では、地域課題探究学習「まつナビ」で水産業の活性化をテーマに活動している2年生の2チームの生徒が、活動内容を発表し東大生からアドバイスをいただきました。発表をした地域科学科2年 山口 真尋さん(山代中出身)は「悩んでいた点について東大生からアドバイスをもらったので良かった。もらったアドバイスを今後活かしていきたい。」と話しました。東大生には高校生の視点でじっくりお話していただき、エンマキの方からは松浦市の水産業について説明をしていただきました『まつナビ』では、大学や地域と連携をして10月23日の成果発表会に向けて活動しています。ぜひ、発表会で松高生の活動をご覧ください。



マツカイ市の高校生との交流

9月18日(水)、松浦市の姉妹都市でもあるマツカイ市(オーストラリア)の高校生10名が本校を訪問しました。主に1年生と交流し、互いの文化に関するクイズやなごなた体験、食文化体験(素麺の調理及び流し素麺体験)などを行いました。地域科学科1年 浜田 恋央奈さん(志佐中出身)は「私はあまり英語が得意ではなく最初は上手くコミュニケーションを取れるか不安でしたが、いざ話すと自分が伝えたいことが伝わり、とても嬉しかったです。マツカイの学生さんもノリが良くて優しく接してくれてとても楽しい時間を過ごすことができました」と語りました。



まつラボ 東京のイベントに参加

9月21日(土)、22日(日)に東京の国際フォーラムで開催された「第20回ふるさと回帰フェア2024」にまつラボの地域科学科2年 古本 紗希さん(御厨中出身)、吉岡玲奈さん(調川中出身)が参加しました。このイベントは各自治体の移住者を増やすことを目的とし、まつラボはその中で農産物、特産物を通じて松浦のことをより多くの人に知ってもらうために、会場販売する商品の選定、業者へのアポ取り、交渉、ポップ作りを部員たちで行いました。また、当日の運営では、市役所の方や東京在住の卒業生にも支援していただきました。松浦市長をはじめ、東京在住の松浦出身の方々など、多くの方に激励を頂き、多くの方に松浦の魅力を届けることができましたと思います。



松浦市民文化祭【作品展】に出展

毎年美術の課題で取り組んでいる、松浦をテーマにしたデザイン画を9月14日(土)15日(日)に開催された松浦市民文化祭に出展しました。本校から2.3年生の作品を中心に8点展示させていただきました。それぞれが感じている「松浦」を表現しデザインしています。11月8日(金)9日(土)に開催される本校の文化祭「松鵬祭」では1年生の作品を中心に展示します。是非見に来てください。



8月9日 平和学習

8月9日(金)、平和学習を行いました。前半は、基礎知識として第2次世界大戦と太平洋戦争、日本で唯一地上戦が行われた沖縄戦について学び、沖縄戦経験者による動画を視聴しました。後半では、長崎原爆犠牲者慰霊平和祈念式典を視聴しました。皆、当時の人たちに思いを寄せるとともに、戦争について改めて知ること、平和を維持するために日頃から自分にできることは何かを考える機会になったようです。



沖縄で戦争が起こったことは知っていたけど詳しく知って、本当にひどい話だなと感じました。もし自分やもしくは友人や家族がこんな目に遭ったらと想像するとこの時代の人たちは、とんでもなくつらい思いをしたんだと思いました。日頃の生活の中で自分にできることとして、まずは他人にやさしくできる人になる。そして戦争のことをもっと知っていけないといけないと思うので、長崎だけでなく広島や沖縄などの戦争で大きく関わった県に実際に行って知りたいなと思いました。

2年地域科学科 末永 雅人(世知原中出身)

動画を視聴して戦争で多くの方々がなくなってしまったことはとても辛いことだなと思いました。戦争にまきこまれた方々で今でも生きている方は、若い人たちに戦争の悲惨さや平和の尊さを学んでほしいという気持ちがあることが動画を通して伝わってきました。私は日頃の生活の中で、自分の周りにいてくれる人を大切にしたいし、これから大人になって関わる方々を大切にして、感謝の気持ちを持つとうと思います。戦争が起きた日以外にも、戦争の悲惨さや平和の大切さ尊さを理解してこれから生活していこうと思います。

1年商業科 池野 愛礼(調川中出身)

言葉の重み

校長 舟越 裕

数年前の話ですが、世界最大の家具量販店IKEA(イケア)が、UAE(アラブ首長国連邦)の小学校で実験を行いました。その実験では、同じ植物が植えられた二つの植木鉢に対して、一つの植木鉢にはネガティブな言葉(音声)をループ再生し、もう一つの植木鉢には、「あなたは美しい」などポジティブな言葉をループ再生します。その状態を30日続けた結果、ネガティブな言葉を受け続けた植物は枯れてしまい、ポジティブな言葉を受け続けた植物は順調に育ったということです。(YouTubeにあります)

日本の高名な植物学者によると、植物が言葉を理解するということはありません、非科学的だそうです。ただし、私たち人間にとっては、ポジティブな言葉を発することを習慣化すること、ネガティブな言葉を発することを習慣化することには大きな違いが出てきます。大谷翔平選手が高校1年生の時に作成したことも知られる目標達成シート(マンダラチャート)も、夢を実現するための要素を具体的に言語化したもので、まさにポジティブな言語活動です。言葉を使うのに老若男女の区別はありません。しかも無料です。プラスの言葉を使うことで、人間はタダで幸せになれます。読書の秋です。たくさんのポジティブな言葉に触れましょう。

まつナビ★2年生がスイーツイベントに挑戦!!

8月31日(土)まつナビの活動として2年生のグループがスイーツイベントを企画開催しました。松浦の施設の活用、おいしいスイーツをアピールしたい!という思いから企画し、お店への交渉等、生徒たち自ら行い実施しました。当日は心配していた台風の影響もなく、地元の沢山の方に来ていただきました。ご協力いただきました百枝製菓様、岩元製菓様、お菓子のちあん様、ほっとほっとカフェ様、ハウチエン様、また会場を提供していただきました泉の家様、ありがとうございました。



松高ホームページ



今後の行事予定等
ホームページで確認できます



Instagram